



有事に備えて 防災講演会を開催

11月28日、笠松中央公民館で防災講演会「地震・洪水のメカニズムと自助・共助」を開催しました。講師の岐阜聖徳学園大学教育学部の森田匡俊准教授からは地理学と教育学の観点から笠松町で発生が想定される災害や、それに備えるために地域で行うとよい防災マップづくりなどの取り組みに関するお話があり、参加した各自主防災会長など約70人が自助共助について考えるよい機会となりました。



「子ども議会」で古田町長と意見交換

11月30日、笠松小学校で「笠松ちょ〜クイズ(写真上)」と「子ども議会(写真下)」(主催:笠松小学校運営協議会 自立共生パートナー部会)が行われ、児童は自分たちが暮らすまちに対する理解を深めるとともに、「まちづくり」の現場を疑似体験しました。

5・6年生を対象に行われた「子ども議会」では、学習環境や公園、通学路に関する疑問や提案など、子ども議員ならではの質問に対し、古田町長が答弁を行い、活発な意見交換が行われました。



給食で広島気分を満喫

12月1日、広島の郷土料理を取り入れた給食が小・中学校で提供されました。6月下旬に予定していた広島復興研修がリモート研修に変更となった中学3年生に、現地の食文化に触れる機会を作ってあげたいと、学校と給食センターがアイデアを出し合って実現した献立です。「広島焼き」や「たこめし」など珍しいメニューは子どもたちや先生からも好評でした。

笠松中学校では、広島のお好み焼きの成り立ちや人気食となった理由などをテレビ放送で視聴しながら給食を楽しみました。

「広島焼き」は、焼きそば・キャベツ・卵などを重ねて焼く本場の作り方を再現するため、調理員の皆さんと朝からフル回転で作業し、なんとか給食の時間に間に合いました！
※調理の様子は町ホームページ(1月の給食ニュース)でご覧いただけます。



【献立】広島焼き、たこめし、美酒鍋風汁、瀬戸内レモンカスタードタルト



栄養教諭 伊藤先生